



2026年度 次世代ワイヤレス技術講座

講座概要

あらゆるモノが繋がる現代社会において、ワイヤレス技術は単なる通信手段ではなく、社会の安全性や持続可能性を支える「生存基盤」へと変貌を遂げました。6Gに向けた技術革新が進む中、電波の有効利用や超低遅延、多接続を実現する技術への期待はかつてないほど高まっています。

本講座は、理論の基礎を固めると同時に、テラヘルツ波、モビリティ、高度な測定技術等、実務に直結する最新トレンドを網羅し、経験豊かな専門家による講義を通じて、多角的な視点からワイヤレス技術を俯瞰できる構成となっています。最新の技術動向に触れ、未来を切り拓く知を養う場としてご活用いただきたく、奮ってご参加ください。

講座長：岡田 実(奈良先端科学技術大学院大学 教授)

募集要項

開催期間・時間

2026年6月19日(金)～2026年12月4日(金) 全6回
時間13:30～17:00

受講対象

研究・開発技術者及び学生、企画担当者、管理者等

定員

各回 先着 30名

締切

- ・第1回、通年受講 : 2026年6月1日(月)
 - ・第2回～第6回 : 各回の開講日1か月前
- ※受付開始日:2026年4月1日、定員になり次第募集を締め切ります。

受講料(税込み) KEC会員価格、[]内は非会員価格

- ・1回のみ受講 : 1名 7,700円 [10,450円]
 - ・通年受講(全6回) : 1名 26,400円 [39,600円]
- ※通年受講料金は、全6回一括でお申込みかつ一括請求時のみ適用されます。請求書発行後の追加申込みや分割請求には適用されません。

申込方法

KECウェブサイトの申込みフォームからお申込みください。
<https://www.kec.jp/seminar/jisedai26/>

請求書(PDF)を発行いたします。
期日までに請求書記載の指定銀行口座に受講料をお振込みください。
複数講座の同時お申込みの場合は一括請求となります。分割請求はできません。

受講方法

開催日の前日までに、聴講用URLが記載された案内メールを送信いたします。講座開催日時に、聴講用URLよりログインいただき、ご参加ください。
受講証の発行はしていません。

会場

Zoomによるオンライン(全国どこからでも参加可能)

開催にあたっての注意事項

※やむを得ず講演内容や配信方法を変更、あるいは、急きよ配信を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※セミナー・講座の記録行為(録音・録画・スクリーンショット・撮影)、講演内容の転用、聴講用URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報共有は固く禁止いたします。誓約いただける方のみご参加いただけます。

※参加申込済みのお客様以外のご参加はお断りいたします。

※聴講には、パソコン等の情報端末とインターネット環境が必要です。インターネットの回線速度及びパソコンの動作検証についてはお客様にてお願いいたします。

お申込み前に、当日使用する端末と場所で
<https://zoom.us/test> にアクセスし動作確認テストを行ってください。

回線やパソコンの不具合により、万一聴講ができない場合、後日の再開催やオンデマンド配信の対応はしていません。

※Zoomアプリでの聴講を推奨いたします。Zoomアプリは最新版をお使いください。Zoomアプリが利用できない場合は、ウェブブラウザからでも聴講が可能です。ただし、複数端末での聴講は認めておりません。

※お客様のご都合によるキャンセルは原則としてお受けしていません。

※テキストはPDFにて配付します。製本テキストの配付はございません。

開催日までに、テキストダウンロード専用ページのURLをメールにてご連絡いたします。入金日(振込連絡日)が遅れた場合、テキストの連絡が遅れますので、あらかじめご了承ください。

※当日ご受講いただいた方に限りアーカイブをご視聴いただけます。(配信日:開催翌営業日、視聴期間:配信後7日間)

後援 : 総務省 近畿総合通信局(予定)

協賛 : 株式会社国際電気通信基礎技術研究所(予定)

お問い合わせ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター
専門委員会推進部 事務局 河上 茜
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2
☎ 0774-29-9041 ✉ publication01@kec.jp

案内詳細・
お申込みはこちら
※4月1日より受付開始



<https://www.kec.jp/seminar/jisedai26/>

講座プログラム・日程

第1回

6月19日(金)
13:30~17:00



阪口 啓 氏 東京科学大学 副学長(教授)

超スマート社会の実現を目指し、サイバーフィジカルシステムとデジタルツインを核とした次世代無線ネットワークの発展を概説する。6G Open RANを基盤に、V2X、NTN、エッジAIを融合したスマートモビリティ、スマート農業、スマート漁業などの具体的応用と将来像を紹介する。

第2回

7月24日(金)
13:30~17:00



佐和橋 衛 氏 東京都市大学 名誉教授

移動通信を含む無線通信では、変復調技術は物理レイヤのキー技術である。本講演では、移動通信方式における変復調技術を述べた後、3GPP(3rd Generation Partnership Project)の4G LTE(Long Term Evolution)及び5G NR (New Radio)規格のwaveform、変復調技術、及び主な無線アクセス技術を紹介する。

第3回

9月4日(金)
13:30~17:00



榊原 久二男 氏 名古屋工業大学 教授

ミリ波・サブテラヘルツ帯アンテナの設計・実装技術について解説する。高周波化に伴う伝搬損失や導体・誘電体損失の増大、寸法公差や材料特性の影響、回路との高密度集積化などの技術課題を整理するとともに、高利得化やビーム制御、パッケージング技術、最新の研究開発動向と将来展望について概説する。

第4回

10月16日(金)
13:30~17:00



笠松 章史 氏 国立研究開発法人情報通信研究機構

Beyond 5G/6Gを始めとする将来の無線通信システムにおける高速・大容量化等に向けた、テラヘルツ波(「サブテラヘルツ波」等と呼ばれる場合も含む)を利活用するための技術の研究開発について紹介する。また、テラヘルツ帯の周波数割り当てや相互接続のための標準化活動の動向についても紹介する。

第5回

11月6日(金)
13:30~17:00



牧戸 知史 氏 株式会社豊田中央研究所

自動運転で重要となるGNSS測位、ミリ波レーダー、V2X通信の三つの技術を体系的に扱う。GNSSでは測位原理、高精度化手法、誤差要因を整理し、ミリ波レーダーではFMCW方式を中心に距離・速度・角度推定と信号処理を解説する。V2XではDSRC/C-V2Xの特徴と協調型自動運転への応用を概観し、将来の車車間アドホックネットワーク研究も紹介する。

第6回

12月4日(金)
13:30~17:00



黒岩 祥浩 氏 アンリツ株式会社

2022年よりCAGR 38%を超える驚異的な成長を続けるミリ波センシングレーダーの測定で実用化された近傍界プローブを使ったチャンパーレス測定法と最新の測定課題とその解決方法を紹介。更に2027年に世界無線通信会議(WRC-27)で協議されることが決定したSub THz(231.5~275 GHz)センシングの国内外の最新の研究状況を報告する。